

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那市まちなかイノベーション・賑わい創出事業
事業主体 (連絡先)	伊那市 伊那市下新田3050番地
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (エ 商業の振興)
事業タイプ	ソフト
総事業費	935,000円 (うち支援金: 701,000円)

事業内容

商店街への新たな人の流れを生み出すためには、修学や観光など多様な目的をもって訪れる幅広い世代への情報発信のみならず、商店街組織との結びつきによる空き店舗物件を活用した起業者支援など、商店街の賑わい創出に主軸を置いた中心市街地の活性化が必要である。そこで、空き店舗物件の調査及び起業希望者と空き店舗のマッチング機会の創出に向けた探索ツアー及びセミナーを実施。

- ・空き店舗調査 令和2年11月から令和2年3月実施
- ・いなまちぶらり探索ツアー及び空き店舗活用セミナー 令和3年3月14日(日)開催 22名参加

事業効果

- ・空き店舗調査及び探索ツアーを通じて、現在2件の物件について空き店舗の解消に向けた交渉が進んでおり、実施した効果が得られた。
- ・空き店舗調査において商店街組織「伊那まちの再生やるじゃん会」に委託したことで、事業者により近い距離で調査をすることが出来た。結果としてこれまで見学が出来なかった店舗の見学が可能になり、見学会等の情報を通じて空き店舗のマッチングについての相談や問い合わせが伊那まちの再生やるじゃん会に寄せられるなど、マッチング機会としてより良い活動となった。

今後の取り組み

伊那まちの再生やるじゃん会との連携により、空き店舗状況の継続的な把握や状況解消に向けた活動の促進を進めていく。
また、空き店舗見学会(探索ツアー)の開催による継続的なマッチング機会の創出を進めていく。空き店舗見学会にあたっては、専門コーディネーターを招致しての本格的な見学会だけでなく、多くの方に機会を提供できるように定期的な開催が出来るような仕組み作りを進めることにより、空き店舗の解消を推進していく。
空き店舗情報の発信については今回の調査結果をもとに、市の公式ホームページ等での情報公開を進めることで、空き店舗情報の周知を進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【探索ツアーの様子】

【目標・ねらい】

- ①空き店舗解消
- ②空き店舗状況の把握
- ③営業店舗数の増加

※自己評価 【 B 】

【理由】

・空き店舗調査や探索ツアーを通じて2件の物件が空き店舗の解消に向けて交渉が進むなど、本活動による効果がみられた。